

# 薬物乱用は ダメ。ゼツタイ。



## 覚 醒 剤 (かくせいざい)

神経を興奮させ、眠気や疲労感がなくなり、頭が冴えたような感じになります。しかし、これは錯覚で、効果が切れると激しい脱力感、疲労感、倦怠感に襲われます。

覚醒剤は特に依存性が強く、使用を続けると『壁のしみが人の顔に見える』『他人の話が自分の悪口に聞こえる』『他人に狙われる』『殺される』などといった幻覚や妄想が現れるほか、時には錯乱状態になって発作的に他人に暴行を加えたり、殺害したりするなど、凶悪粗暴な行動をとることもあります。また、一度に大量の覚醒剤を摂取すると、急性中毒により死に至る場合があります。



## 大 麻 (たいま)

酒に酔った感覚や手足などに麻痺等が現れるとともに、視覚、聴覚、味覚、触覚等の感覚が鋭敏になります。また思考が分裂し現在・過去・未来の観念が混乱して、感情が不安定になったりします。このため、興奮状態に陥って、暴力や挑発的な行為を行うなど、無責任な衝動的行為を行うようになります。



## M D M A

幻影、幻聴、幻想など、視覚、聴覚を変化させる作用や、血圧や体温を上昇させるなどの興奮作用があり、強い精神的依存性があります。



## 薬物乱用による精神・身体への影響

『薬物を乱用するとどうなる？』

### 依存性

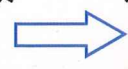
薬物の効果が切れた時の苦痛などから逃れるため、薬物による効果を強く求めるようになる「依存性」が形成されます。

### 耐性

薬物を繰り返し使用しているうちに同じ量では効かなくなる「耐性」が生じます。

「一度だけ」のつもりでも、薬物の依存性と耐性によって、使用する量や回数がどんどん増えていく悪循環に陥ります。

自分の意思ではやめることができなくなり、身体も心もボロボロになります。



# 危険ドラッグの乱用もダメ。ゼツタイ。

## 神奈川県警察

